

佐渡市トキ訪問団が中国陝西省洋県を友好訪問

せんせいしょう



中市を表敬訪問した後、洋県を訪れました。(中国の行政単位は省の下に市、県と続きます。洋県の人口は40万人です。)

陝西省の行政庁舎で行われた会見で、権林業庁長は新潟県が毎年行っているトキ保護のための資金援助に対して感謝の意を表すとともに、中国から日本に贈られた2羽のトキが80羽にまで増えたことに敬意を表したと述べられました。

7月7日から12日まで、高野市長を団長とする訪問団18人が中国陝西省洋県を訪問しました。佐渡市からは高野市長、浜口議長、石瀬教育長ほか随行員2人、新潟県から県民生活・環境部の小林副部長、それに民間からも12人が参加しました。洋県とはトキが縁で旧新穂村と国際親善を長く続けており、昨年7月佐渡市誕生記念式典に洋県代表団4名を招請して新たに佐渡市と友好交流協議書を締結しました。

今回の訪問は佐渡市になってはじめてのもので、陝西省と漢中市を表敬訪問した後、洋県を訪れました。(中国の行政単位は省の下に市、県と続きます。洋県の人口は40万人です。)

陝西省の行政庁舎で行われた会見で、権林業庁長は新潟県が毎年行っているトキ保護のための資金援助に対して感謝の意を表すとともに、中国から日本に贈られた2羽のトキが80羽にまで増えたことに敬意を表したと述べられました。

洋県では陝西トキ保護観察センターを視察し、草貝地区にあるトキの集団ねぐら、水田でえさを取るトキの群れ、漢江の河岸でえさを取るトキの家族などを観察しました。保護センターの説明によると、洋県には人工飼育されてい



0羽、野生のトキがおおよそ450羽生息し、そのほかでも200羽あまりのトキが人工飼育されているということでした。

洋県政府招待所で開催された洋県人民政府主催の交流夕食会で、陳県長からトキを仲立ちにした国際交流をこれからも長く続けていきたいとのあいさつがあり、これに対して高野市長はトキ保護増殖事業に対する中国の支援と協力に感謝の意を表すとともに、今後ともトキに関する交流だけでなく文化、教育など幅広い分野において洋県と友好の輪をひろげていきたいとお礼のあいさつをしました。



今回の訪問団には、佐渡でトキの野生復帰に向けて地道な活動を続けているNPO法人や農業者グループのメンバーが参加されましたので、NPO法人トキどきき応援団理事長の計良武彦さんと片野尾とき舞生産組合の小田誠さんに洋県を訪問したときの印象や感想をレポートしていただきました。

中国のトキを尋ねて
NPO法人 トキどきき応援団
計良 武彦

かねてより、中国の野生のトキを一目見たいものだと思っていたところ、佐渡市の中国陝西省洋県への友好訪問があることを知り、渡りに船と参加させていただきました。

洋県は、佐渡の数十年前の原風景とほぼ同じです。なわち青々とした田んぼが広がり、畑には又イカやいんげんとうもろこし等があつた。広い平野に所狭しと工夫をしながら、梨畑の空間にライカをポツポツの苗木の空間にとつてもろこし等)作付けされておりました。

そんな中を人がのんびりと農作業をし、子供たちが川遊びを

している。近くを野生のトキがえさをみつければ飛び交う様子を目の辺りに感じました。川原ではごく自然に警戒心も無くひたすらえさをついでみ人と牛がいるすぐ後ろの木の上で一休みする様など見事に人とトキが自然共生していたように思いました。



トキは時間になれば、すなわち夕暮れと日の出を合図に営巣地、民家のすぐ近く(の森)とえさを美しきとき色を輝かせて飛び交う姿は見事でありました。

また中国のトキは中国政府の手厚い保護政策も感じましたが、そんなことはおかない無しのトキは自然に飛び交い、人は人として物の無農薬栽培に取り組み付け加価値を付け、事も無げに増収を上げていると聞き驚きました。今回のトキを尋ねる旅を終え、佐渡の空にトキが飛び交う姿がよみがえる日はもう間もなくと実感しました。しかし決してたや